

忠類

## ナウマンゾウの足跡

化石工房でクリーニング

忠類ナウマンゾウの発掘から50年。今年も「象の足跡」をめざして発掘がおこなわれました。昨年に引き続き、博物館からもスタッフを派遣しました。今年足跡の「実物」の保存にも取り組んでいます。



足跡をふくむブロックの切り出し  
大きさは、90×70×35cm



発掘現場での くぼみの「なかみ」  
「穴」を埋めていた砂を取り除いた



博物館化石工房に搬入した 足跡ブロック



慎重にクリーニングを進めています  
(矢印：30cm)

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp

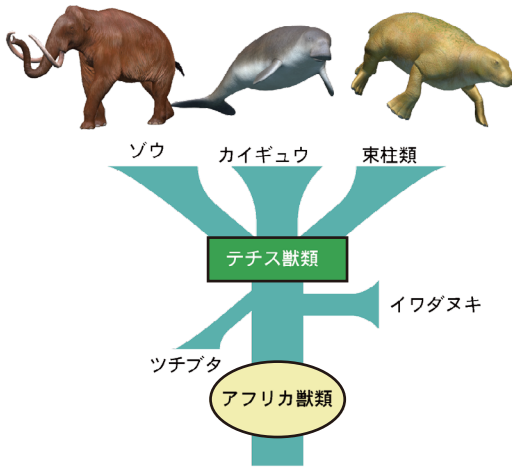
No. 155

2020年 12月9日発行

(年4回発行)

(博物館だよりpdf版あり)

# ナウマンゾウの来た道



幕別町の忠類から発掘されたナウマンゾウ、足寄から発掘された束柱類のアショロア。時代も暮らしていた環境もことなる2つの動物ですが、実は大きな共通点があります。どちらもアフリカを起源とする『アフリカ獣類』という哺乳類から生まれているのです。ゾウは陸づたい、アショロアなどの束柱類はもしかしたら途中からは海づたいで北海道までたどりつきました。

## 北海道への象渡来の謎

北海道では、2種類のゾウの化石が見つかっています。ナウマンゾウとケナガマンモスです。

ケナガマンモスは、最後の氷期（7万年～1万年前）の寒い時期に、陸続きになったアジア大陸→サハリン→宗谷岬のルートで北海道にきました。わかりやすい。

一方、ナウマンゾウについては、いくつかの問題が残されています。

①日本にはいつからいたか：40～35万年前に、西の方からやってきたとされますが・・・。

②北海道にどうやって来たか：これは津軽海峡ができる前に北海道に来ていたか（？）という問題です。もし、40万年前には海峡だったとすると、象は泳いでわたらなければなりません。海峡になるのがもっと後の時期だとすると、歩いて来道した可能性があります。はたして・・・。

③どんな生活をしていたのか：忠類のゾウ化石は、12万年前・1頭分です。この時期にたまたま十勝まで来たのか、もっと前から集団で生活していた内の1頭なのか。集団だとすれば、群れの様子はどうか、いつまで十勝にいたか、などの問題があります。

④どんな動物といっしょだったか：北海道からは、いま生きている動物の化石は見つかっていません。ヒグマやエゾシカなどが、いつから北海道にいたのか・・・人類は。

忠類の発掘現場では、地層に「足跡」と認定されたくぼみが多数みつかりました。それは動物の生活場所であることの証明です。忠類の発掘場所は、北海道の自然のなりたちを解明する可能性を秘めています。

# 干支動物展 2021年の干支は「丑」、動物はウシ

1月7日～31日まで  
博物館ロビー

私たちに馴染みのある家畜動物、ウシ！  
でも骨を目にする機会はありません。

この展示では、  
胎児・2歳弱・10歳のウシの骨を見て、  
骨や歯の成長、ウシの骨の特徴を見てみましょう！



# おうちでミニ発掘 プレミアム 2020冬

「おうち」専用のプレミアムをこの冬もお届けします。夏に人気だったあの種類も！**12月26日(土)**から提供を開始します。それぞれ数に限りがあります。おうちでお楽しみください。

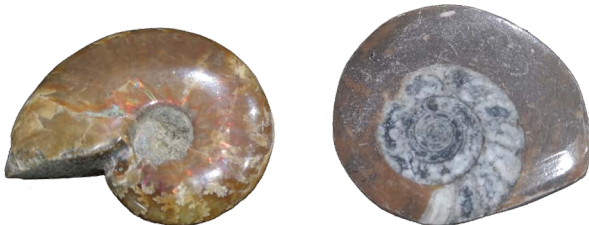
## 新春干支ミニ発掘

**「掘るスタイン」セット 800円** ※「スタイン」はドイツ語で石のこと



ホルスタイン?のような白黒メノウ、「肉のような石」という意味のカーネリアン、ミルク色のムーンストーン。もちろんウシに絡めたセットです。

## ポリッシュアンモナイトセット 1000円



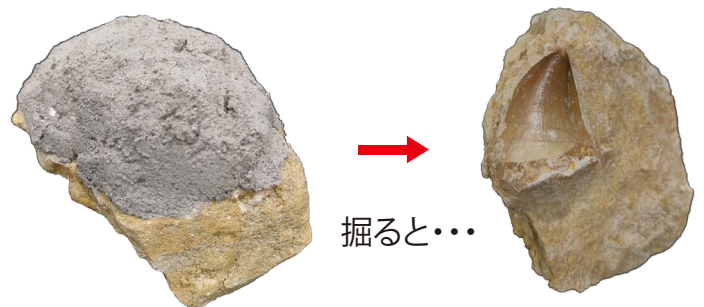
虹色に輝くアンモナイトと中身が見えるアンモナイトのセットです。

## 蛍光鉱物セット 1000円



ブラックライトで色が変わる！ホタル石・蛍光水晶・ルビーコーディエライトのセットです。

## モササウルスの歯化石 1000円



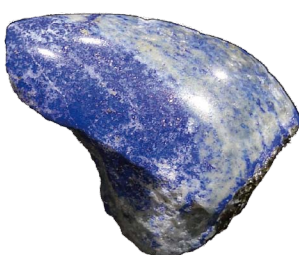
掘ると・・・

モササウルスの化石はこんなふうに見つかる？母岩から掘り出すような仕上がりです。

# 冬もやります おうちで石みがきキット

みがくための石（一部粗研磨済）と、紙やすりのセットです。みがき方ガイド付き。

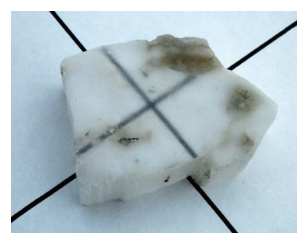
**ラピスラズリをみがこう 800円**  
**スペシャル版 1000円**



ラピスラズリのかげらのセットです。おうちで「ラピス」をツルツルにみがけます。平面・曲面あり。

ペンダントトップ用に使えるスペシャル版も用意しました。

**テレビ石をつくろう 500円**



テレビ石、いまなら「光ファイバー石」。石の向こうの字や線がうきあがります！

# 冬の博物館 アクセサリーづくり

1月7(木)ー13日(水)

新年は7日(木)  
開館です

今年の「冬の博物館」は人気の「アクセサリーづくり」を行います。化石やクリスタルをUVレジンで固めて、自分だけのアクセサリーやバッジをつくりましょう。

各回、同一グループで最大6名までの事前予約制となっています。また、参加にあたっては入館が必要です。詳しくは下記をごらんください。



アクセサリーの作品例

期間：1月7日(木)ー13日(水)

時間：11:00～

13:00～

14:00～

人数：各回同一グループ6名まで(同伴の保護者含む)

年齢：小学四年生以上(三年生以下の参加者には保護者の同伴が必要です)

予約：すべての回で事前の予約が必要

申込み：来館時、または電話での申込み

費用：400円(当日受付でいただきます)

※ 参加するには「入館」が必要です。

## あしバスにのろう

停留所「動物化石博物館前」は博物館駐車場の入り口にあります。  
発着時刻は

9:03  
10:58  
13:23  
15:18  
17:13 です。

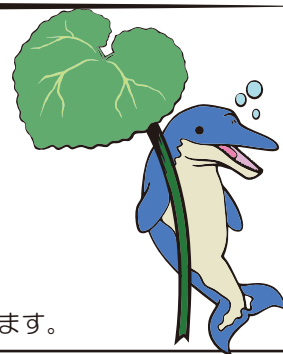
平日・土曜日に運行します。

### 足寄動物化石博物館の利用について

○開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館締め切り時刻)

○休館 毎週火曜日(祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日)  
年末(12月29日から)・年始(1月6日まで)  
※29日は火曜休館のため(2020年)

○料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円  
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。  
足寄町民の町民研修利用は無料。  
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



冬の博物館はお持ち帰りも含めて実施です。アクセサリーづくりは昨年同様一週間行います！  
短い冬休みを博物館で楽しんでください。